

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月19日

計画の名称	安全で快適な公園づくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	和歌山市												
計画の目標	都市において様々な役割を担っている都市公園について、公園施設の老朽化により劣化した施設が多くあるため、利用者の安全確保が重要な課題となっている。 このことから、安全で安心して利用できる環境を構築するため、既存の公園施設の長寿命化及び改築・更新を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,329	A	2,329	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	公園施設長寿命化計画に基づき、木製複合遊具を撤去及び更新した都市公園数の割合を40%から100%に増加 公園施設長寿命化計画に基づき、木製複合遊具を更新した都市公園数の割合(木製複合遊具がある10公園) 木製複合遊具の更新割合 = 木製複合遊具を更新した公園数 / 木製複合遊具がある公園数 × 100	40%	%	100%
2	既存の公園について、老朽化した施設の改修、更新を行う。 都市公園におけるトイレをバリアフリー化した箇所数の割合(トイレがある都市公園69箇所) 公園内トイレをバリアフリー化した箇所数の割合 = 公園内トイレをバリアフリー化した箇所数 / 公園内トイレの箇所数 × 100	12%	%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	和歌山東公園等94箇所における公園施設の改築更新等	和歌山市						216		策定済
	A12-002	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	中之島公園等26箇所の公園施設のバリアフリー化	和歌山市						149		-
	A12-003	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	都市公園事業(四季の郷公園)	公園施設(園路、広場、トイレ等)の改修及び新設	和歌山市						800	2.71	-
	A12-004	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	都市公園事業(仮称)つつじが丘総合公園	土地購入、詳細設計、公園施設(園路等)の改修及び新設	和歌山市						1,164	2.07	-
											小計						2,329		
											合計						2,329		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 和歌山市にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年8月
	公表の方法 和歌山市のホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した遊具を更新することで、利用者の安全性の確保を図り、快適性の向上を図った。 ・トイレのバリアフリー化を行うことで、誰でも安全で安心して利用することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも安全で安心して公園を利用できるようにすることで、公園利用者の増加につながっている。
特記事項（今後の方針等）	
都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業について、引き続きトイレのバリアフリー化を行うことで、安全で快適な公園づくりを目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公園施設長寿命化計画に基づき、木製複合遊具を撤去及び更新した都市公園数の割合を40%から100%に増加	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	既存の公園について、老朽化した施設の改修、更新を行う。	
	最終目標値	40%
	最終実績値	26%